

令和5年度 各学年の取組

◆小中一貫に係る取組

1年	2年	3年	4年	5年	6年	たんぽぽ
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードを活用する。 読書の機会を増やしたり、読み聞かせをしたりする。 作文を書く際に、カタカナや漢字で書ける言葉に気付かせ、生活の中で活用できるようにする。 自分の考えを他者に伝える場を設ける。 漢字の習熟を図る。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐんぐんタイムで基礎的な計算力を定着させる。 単元の学習後も繰り返し学習し、内容の定着を図り、生活の中で活用させる。 T Tによる指導を行う。 家庭との連携（家庭学習含む） ひらがな、漢字、計算の宿題プリントや音読カードの活用等の継続的な取組で定着を図る。 学年便り等で、学習の取り組み方を伝え、協力を仰ぐ。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードを活用する。 授業中に読む場面を多く作り、声を出すことで文章の内容を把握する力をつける。 書く単元に取り組むことで、書くことへの抵抗をなくすようにする。 読書の機会を増やしたり、読み聞かせをしたりする。 「見つけたよカード」や作文を書く際に、漢字や片仮名で書ける言葉に気付かせ、生活の中で活用できるようにする。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間、長さ、水のかさ、くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算などは、単元の学習後も生活の中で体験を繰り返して学習内容の定着を図る。 速く正確に計算する力を育てる。 かけ算九九は学校と家庭が連携して繰り返し練習させ、2年生のうちに自然に唱えられるようにする。 T Tによる指導を行う。 家庭との連携（家庭学習含む） 毎日、漢字や計算の宿題プリント、音読カードに取り組み、家庭学習の習慣の定着を図る。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードを活用する。 随時漢字小テストを行い、定着を図る。 毎日の漢字練習の取組みで新出漢字の定着を図る。 図書室を積極的に利用し、読書体験を増やす。 自分の考えを相手に伝える機会を増やす。 国語辞典を活用し、語彙量を増やす。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 速く正確に計算する力を育てる。 繰り返しドリルに取り組むことで、計算力の定着を図る。 算数的思考力を育てる発問を工夫する。 長さ、重さ、時間の学習などは、生活の中で定着させる。 T Tによる指導を行う。 家庭との連携（家庭学習含む） 個に応じた家庭学習の取組を保護者に伝え、理解と協力を求める。 毎日課題を出し、家庭学習の習慣化を図る。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カード、読書カードを活用する。 漢字小テストを行い、定着を図る。 毎日の漢字練習の取組みで新出漢字の定着を図る。 日記指導を1年間通して行う。 国語辞典、漢字辞典を日常的に活用する。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐんぐんタイムと家庭学習の充実で基礎学力を高める。 家庭学習のプリントの工夫で、現単元と既習単元の問題を合わせ、習熟度を高める。 学習が遅れがちな児童を個別指導する。 T Tによる指導を行う。 家庭との連携（家庭学習含む） 家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を図る。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読、読書カードを活用する。 文章構成を考えた作文指導を行う。 帰りの会などで目的に応じたスピーチを行う。 漢字小テストを実施する。 国語辞典、漢字辞典を日常的に活用する。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> T Tによる指導や少人数指導を行う。 習熟度にあわせたプリント学習を実施する。 単元テスト前に習熟度別学習を実施する。 個に応じた計算力の向上を図る。 家庭との連携（家庭学習含む） 毎日の漢字練習の取組みで新出漢字の定着を図る。 計算プリントを活用し、計算力を高める。 自主学習を奨励し、学習意欲を向上させる。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードを活用する。 国語辞典、漢字辞典を活用する。 漢字小テストを実施する。 文章構成を考えた作文指導を行う。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> T Tによる指導や少人数指導を行う。 ◆デジタル教科書等ICTを積極的に活用する。 個に応じた計算力の向上を図る。 単元テスト前に習熟度別学習を実施する。 ◆6年間で学習した内容の総復習を行う。 家庭との連携（家庭学習含む） 自主学習を奨励し、自主的な課題設定をする力をつけるとともに、授業の復習をすることで学習内容の定着を図る。 反復プリントにより、基礎基本の定着を図る。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読カードの活用 毎日の漢字の取組 図書館を積極的に利用し、読書体験を増す。 毎日、日記を書くことで書く力や思考力を伸ばす。 自分の考えを他者に伝える場を設ける。 繰り返し取り組むことで、定着を図る。 個に応じて課題設定を行い、定着を図る。 <p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐんぐんタイムと毎授業取り組む計算タイムで、基礎的な学力を定着させる。 学習した内容を生活の中で活用し、繰り返し取り組む。 個に応じて課題設定を行い、定着を図る。